

株主通信



2025年3月期(第53期)中間期 事業報告

2024年4月1日～2024年9月30日



特集 | 新経営体制・役員紹介

業績ハイライト

環境の変化に柔軟に対応しながら資本効率を向上し、株主価値の継続的な成長を実現してまいります。

代表取締役社長 上野 淳



2025年3月期 中間期の業績について

当中間期の情報通信関連市場においては、生成AIの普及が加速し、データセンターへの投資が活発化しています。自動車関連市場においては、中国において電気自動車へのシフトが進む一方、米国では走行距離への不安から電気自動車の販売が伸び悩み、日本では品質不正問題により生産台数が計画比で減少することとなりました。

こうした中で当社グループは、進行中の中期経営計画『マスタープラン2022』に基づき、「顧客接点の活性化」、「新製品・新技術開発の加速」、「ものづくり力の強化」、「経営基盤の強化」の各施策の遂行に努めました。

「顧客接点の活性化」に向けては、展示会への出展やホームページの活用等を通じて新しい顧客と出会う機会を数多く作り、商談数を増やすことに注力しました。「新製品・新技術開発の加速」に向けては引き続き技術力の研鑽に取り組み、「ものづくり力の強化」に向けては、自動化を含めた生産体制の強化や仕入先、外注先との関係強化に努めました。「経営基盤の強化」に向けては、人的資本の強化、温室効果ガスの排出削減活動やペーパーレス化の推進、デジタル化による業務効率の向上等に取り組みました。

こうした結果、当中間期における売上高は9,062百万円となり、中間期の売上高としては過去最高となりました。営業利益は1,030百万

円、経常利益は1,046百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は772百万円となり、前年同期から大幅な増収増益となりました。

セグメント別の業績について

● 精機関連

国内自動車メーカーの中国市場向けの販売が伸び悩む中、電気自動車用のインバーター関連部品の売上高が伸長しました。一方、電子機器向けの金属プレス成形品は、中華系スマートフォンの高性能機種需要が回復せず、売上高が減少することとなりました。これらの結果、当中間期の精機関連の売上高は4,337百万円となりました。材料価格の上昇等により原価率が悪化し、営業利益は189百万円となりました。

● 光製品関連

生成AIの普及等を受けて、世界中でデータセンターの新設が活況となり、光コネクタ等の光通信用部品の需要が増大しました。これにより、光コネクタを製造する際に使用する光コネクタ研磨機や検査・測定装置の売上高が大きく増加することとなりました。これらの結果、当中間期の光製品関連の売上高は4,725百万円となりました。光コネクタ研磨機や検査・測定装置の売上高の増加に伴い、営業利益は840百万円と大きく改善しました。

● 中間配当を行います

当社はこれまで年1回の期末配当のみを実施してまいりましたが、株主の皆様への利益還元を機会を充実させるため、当期より中間配当を実施することといたしました。当中間期におきましては、2024年9月30日時点の株主様を対象に、1株当たり30円の配当を行います。12月9日よりお受け取りが可能となります。

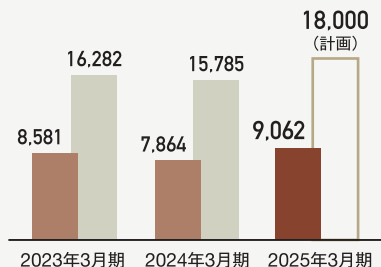
なお、期末配当は1株当たり30円とさせていただきます。これにより年間配当は1株当たり60円となり、前期から5円の増配となる予定であります。

年間配当の内訳

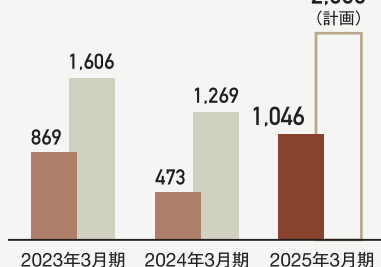
	1株当たり配当金		
	中間期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
当期配当予想	—	30.00	60.00
当期実績	30.00	—	—
前期(2024年3月期)	—	55.00	55.00

業績・財務グラフ (単位:百万円)

売上高 ■ 中間期 ■ 通期

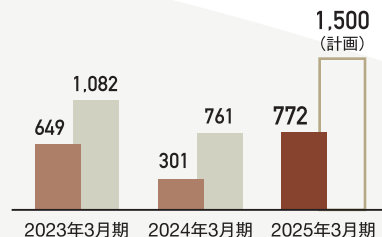


経常利益 ■ 中間期 ■ 通期

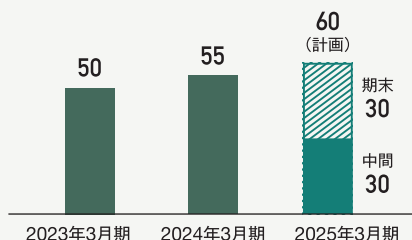


親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

■ 中間期 ■ 通期

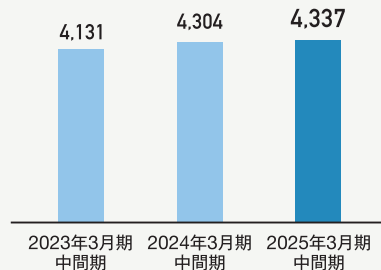


一株当たり配当金 (単位:円)

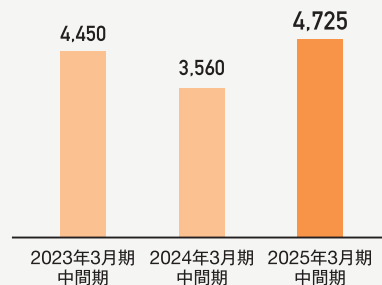


セグメント別売上高推移 (単位:百万円)

● 精機事業 精密金型／精密成形品／その他



● 光製品事業 光通信用部品／製造機器・装置／その他



TOPICS

子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得しました

当社は、仕事と子育てを両立し、生き活きと働くことのできる環境を整備するため、育児支援制度の拡充等、様々な施策に取り組んでいます。

そうした中、これまでの取り組みや男性社員による育児支援制度の利用実績が評価され、2024年9月4日付で、厚生労働省より子育てサポート企業として認定を受け、「くるみん認定」を取得しました。今後も引き続き、すべての社員がより働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。



役員
紹介

2024年6月21日に開催された第52回定時株主総会において3名の取締役が新たに選任されました。管理部門を担当する斎藤 祐司取締役、機器事業部を担当する角野 清行取締役、社外取締役（監査等委員）の三好慶取締役です。今回は、当社の業務執行においても重要な役割を担う2名の社内取締役をご紹介します。

経営基盤を強化し、
株主価値の継続的な成長を実現します

取締役 管理部部长 斎藤 祐司

プロフィール

2000年に当社入社。管理部、経営企画室等を経験し、2018年に執行役員に就任。現在は経営企画・人事総務・財務経理・情報システム・法務・広報IR等、幅広い業務を統括する管理部を担当。



管理部門としては、継続的に株主価値を向上させることのできる強い企業体質を確立するため「経営基盤の強化」に全力で取り組んでまいります。

具体的には、以下の4つの柱に注力します。

- **人的資本の強化** グローバルに活躍できる社員の採用に努めるほか、社員のスキル向上、働きやすい環境の整備を進め、組織全体のパフォーマンスを向上させます。
- **サステナブルの推進** 環境・社会・ガバナンス（ESG）への取り組み強化や、実効性のあるBCPの確立を通して持続可能な企業活動を実現します。
- **DX・IT化の推進** デジタルトランスフォーメーションを加速させ、業務の効率化と生産性の向上に取り組めます。
- **企業価値の向上** M&Aを含む戦略投資を推進し資本効率の改善を図るとともに、株主の皆様との対話を強化し、株主価値の継続的な向上を図ります。

株主の皆様の信頼に応えるため、誠心誠意努めてまいります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

世界基準の機器・装置を市場に展開し、
グループの継続発展に努めます

取締役 機器事業部部长 角野 清行

プロフィール

2002年に当社入社。営業や事業運営全般に係る職務を経験し、2018年に執行役員に就任。現在は欧米の海外販社やDATA PIXEL社を含めた機器事業部の統括責任者としてグループの業績を牽引。



私が担当する機器事業部は2012年に発足以来、当社新製品の導入を積極的に進められたお客様にも恵まれ、売上・利益ともに順調な持続成長を実現しております。

当事業部は、光コネクタ先端部の研磨に必要な研磨機および付帯設備、フランスDATA PIXEL社が製造販売する光コネクタ先端部の形状特性を測定する干渉計や顕微鏡、放送・通信ネットワークを支える伝送システムや光電界センサ等を柱としたビジネスを展開しております。売上の過半は海外市場向けであり、市場動向の不透明な局面がある一方、ダイナミズムを体感できる魅力も秘めています。

「メーカー機能を軸に商社機能も併せ持つことで、光コネクタ研磨・清掃・測定の世界基準を牽引するリーダーになる」を事業ビジョンとして、自分達で“のびしろ”を作りながら、精工技研グループの継続発展に努める所存であります。

ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう邁進し続けますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

12社目のグループ会社が誕生

～株式会社エムジーの連結子会社化～



当社は2024年10月25日に、株式会社エムジーの発行済みの全株式22万株を譲り受け、連結子会社化しました。これにより当社グループは、当社をはじめとして連結子会社が9社（休眠中の香港精工技研を含む）、持分法適用関連会社2社の12社体制となりました。

株式会社エムジーは、宮城県宮城郡利府町に本社を置き、宮城県内と山形県に計3ヶ所の工場を有する射出成形品メーカーです。1970年の創業以来、高度で多様な射出成形技術をベースに、自動車や文具、医療等の市場に向けてプラスチック成形品やプラスチックマグネット成形品を供給し、安定した顧客基盤を築いています。

当社が株式会社エムジーを連結子会社化することで、当社はより幅広い射出成形技術と自動成形技術を獲得し、成形品供給ビジネスの拡大を実現することが可能になります。さらに、当社グルー

プが国内外に有するネットワークを活用して、株式会社エムジーの成形品を拡販することも可能です。両社が有する技術や顧客基盤、人材等の経営資源を有効に活用することで、より幅広い産業領域に向けて製品やサービスを展開し、当社グループのさらなる成長を実現してまいります。



新社長よりコメント

代表取締役
高師 修一

(2024年10月25日就任)



私は精工技研の精機事業部長を務めており、10月25日から株式会社エムジーの社長を兼務することとなりました。株式会社エムジーの良い部分を残しながら精工技研グループとのシナジー創出を図り、よりお客様にご満足いただける、付加価値のある成形品を供給してまいります。



会社基本情報 (2024年3月期)

名称 株式会社エムジー

本店所在地 宮城県宮城郡利府町しらかし台六丁目1番8号

資本金 100百万円

設立年月日 1970年1月30日 社員数 131名

財政状態 純資産：945百万円 総資産：1,399百万円

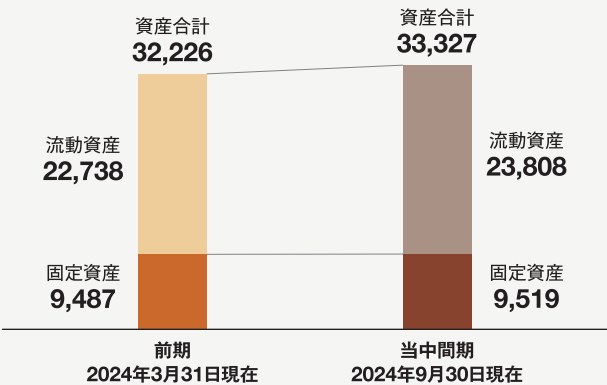
経営成績 売上高：2,341百万円 経常利益：574百万円

(※)記載の財政状態および経営成績は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用前の数値です。

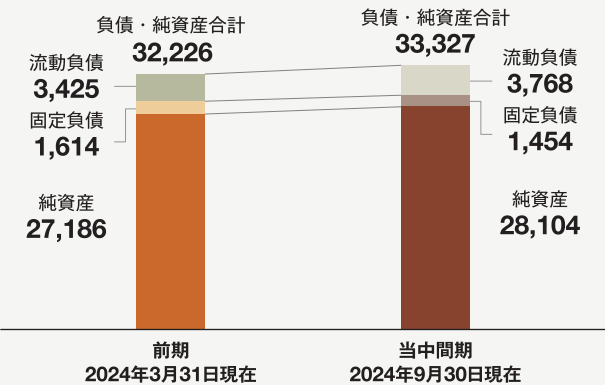
連結財務諸表(要約) 単位：百万円、単位未満切り捨て

中間期 連結貸借対照表

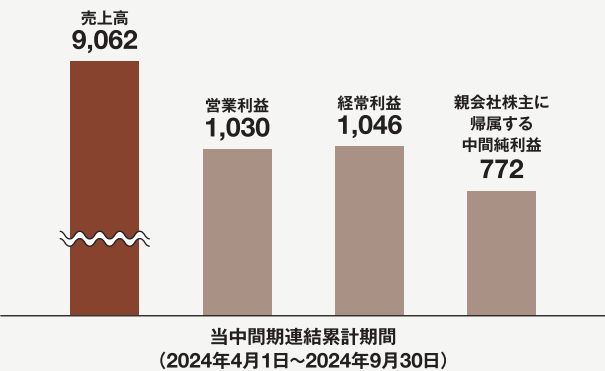
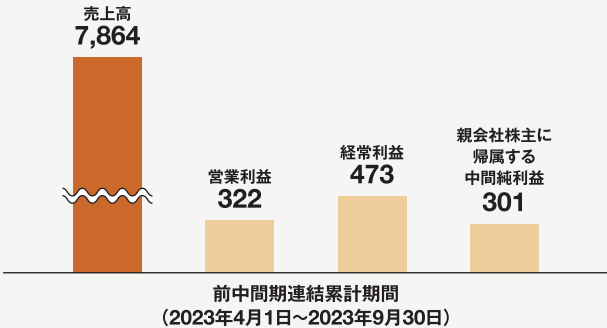
資産の部



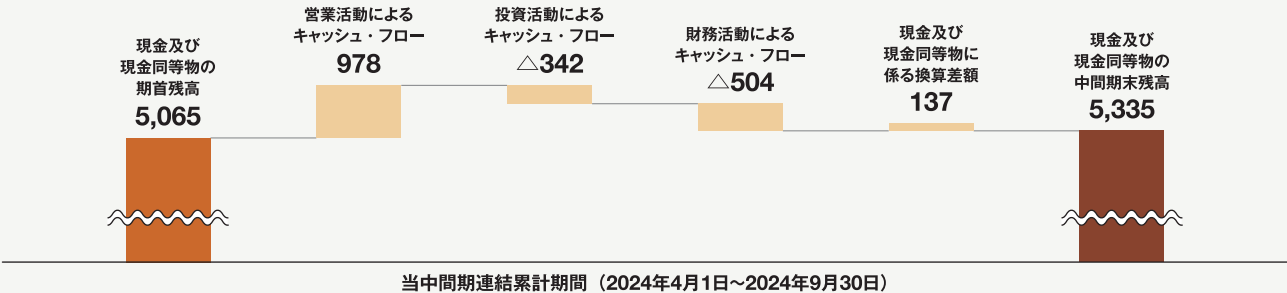
負債・純資産の部



中間期 連結損益計算書



中間期 連結キャッシュ・フロー計算書



当中間期連結累計期間 (2024年4月1日～2024年9月30日)

会社情報／株式情報

会社概要 (2024年9月30日現在)

会社名	株式会社 精工技研
本社所在地	千葉県松戸市松飛台296番地の1
創業	1972年6月
資本金	6,791,682,700円
事業内容	精機事業 自動車用部品、電子部品等の精密成形品 や各種精密金型、精密金属部品等の製造 および販売 光製品事業 光通信用設備に用いる光部品や光部品製 造機器、光部品形状測定装置、無給電光 伝送装置、光電界センサ、高耐熱レンズ 等の製造および販売
従業員数	817人
グループ会社	子会社 (2024年11月30日現在) SEIKOH GIKEN USA, INC. 杭州精工技研有限公司 SEIKOH GIKEN EUROPE GmbH 大連精工技研有限公司 不二電子工業株式会社 DATA-PIXEL SAS SEIKOH GIKEN (THAILAND) Co., Ltd. 株式会社エムジー 関連会社 浙江精工光电科技有限公司 杭州技研光电科技有限公司

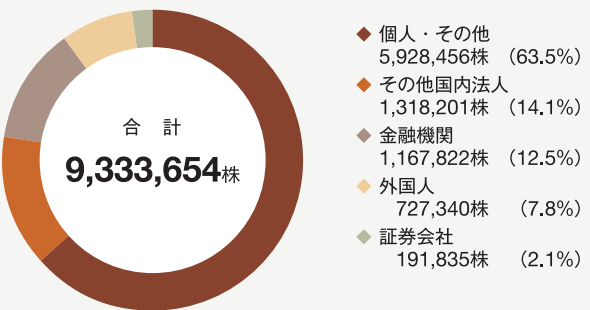
役員 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長	上野 淳
専務取締役	木村 保
専務取締役	来 関明
取締役	斎藤 祐司
取締役	角野 清行
取締役 (社外取締役)	大久保 勝彦
取締役 (社外取締役)	谷田貝 豊彦
取締役 (監査等委員)	森 保彦
取締役 (監査等委員、社外取締役)	相場 俊夫
取締役 (監査等委員、社外取締役)	三好 慶

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	9,333,654株
株主数	3,513名

所有者別株式分布状況 (2024年9月30日現在)



株主メモ

事業年度
定時株主総会
基準日
株主名簿管理人

4月1日から翌年3月31日まで
毎年6月
毎年3月31日
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
電話照会先

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

ホームページのご案内

当社のホームページで個人投資家向け説明会と 決算説明動画をご覧ください。

株主や投資家の皆様に当社のことをよりご理解いただくために、個人投資家向け説明会や決算説明動画を配信しています。動画では、業績ハイライト、今後の取り組みや戦略、業績予想のポイントを中心に説明していますので、ぜひご覧ください。
今後も株主・投資家の皆様にタイムリーで分かりやすい情報発信を目指し、IR活動の向上に取り組んでまいります。

個人投資家向け説明会



決算説明動画



<https://www.seikoh-giken.co.jp/irinfo/index.html>

